



瀬戸内



『し・ま・の・音楽祭』2018

2018年9月8日(土)~9月16日(日)

~伯方島・生口島・因島・関前諸島・大崎下島・大三島・大島~

- | | |
|----------|--|
| 9月8日(土) | 『し・ま・の・室内楽』伯方島公演 A
『し・ま・の・室内楽』伯方島公演 B |
| 9月9日(日) | 『し・ま・の・室内楽』公開リハーサル①
『し・ま・の・室内楽』生口島公演 |
| 9月10日(月) | 『し・ま・の・室内楽』因島公演 A
『し・ま・の・室内楽』因島公演 B |
| 9月11日(火) | 『し・ま・の・室内楽』公開リハーサル②
『し・ま・の・室内楽』関前諸島公演 |
| 9月12日(水) | 『し・ま・の・室内楽』公開リハーサル③
『し・ま・の・室内楽』大崎下島公演 |
| 9月13日(木) | 『し・ま・の・室内楽』大三島公演 A
『し・ま・の・室内楽』大三島公演 B |
| 9月14日(金) | 『し・ま・の・室内楽』大島公演 |
| 9月15日(土) | 『し・ま・の・オーケストラ』公開リハーサル① |
| 9月16日(日) | 『し・ま・の・オーケストラ』公開リハーサル②
『し・ま・の・オーケストラ』第4回演奏会 |

～瀬戸内『し・ま・の・音楽祭』について～

瀬戸内『し・ま・の・音楽祭』は、「しまで音楽を聴きたい」という島の方の声に応え、2013年に首都圏や瀬戸内の大学オーケストラメンバーが集まって伯方島で行った『し・ま・の・オーケストラ』第1回演奏会から始まりました。その後、オーケストラ指導にあたるプロ奏者による『し・ま・の・室内楽』演奏会も行いながら回数を重ね、今回で4回目となります。当音楽祭では、音楽を『創る』過程を多くの方に体験していただくと同時に、しまで『創る』ことのできる演奏会を目指し、次の4つの『つくる』を掲げています。



創る音楽祭 ロゴマークは、
今治市伯方島地域おこし協力隊 有吉かな子さんの作品です。

★聴く機会をつくる

・演奏会

毎回の演奏会の感想からは、島嶼部では生の音楽を聴く機会が少ないので継続して開催をしてほしい、という声を多くいただいております。より多くの方に生きた音楽を身近に感じていただけるよう、大人数の『し・ま・の・オーケストラ』から少人数の『し・ま・の・室内楽』まで様々な規模の企画を用意し、その場にあった形でお届けしていけたらと考えております。地元で演奏会の企画をしてみたい方は、お気軽にお問い合わせください。

・リハーサル

当音楽祭では、室内楽やオーケストラの演奏会を開催するだけでなく、そのリハーサルをすべて公開しています。リハーサルには、演奏会を聴きに行くだけでは決してうかがい知ることのできない秘密がたくさん詰まっています。練習風景に興味のある方も、オーケストラ指導や室内楽について本格的に学びたい方も、演奏会を『創る』過程を、どうぞご覧ください。

★奏でる機会をつくる

・ソリストオーディション

音楽を専門に勉強する人にとって、特に協奏曲を学ぶにあたってオーケストラと共演できる機会は本当に少なく、希少な機会となっています。オーケストラと共演してみても初めて分かることは驚くほど多く、またソリストとして演奏会に責任を持つことも大切な経験となります。『し・ま・の・オーケストラ』ソリストオーディションを実施することで、できるだけ多くの方にその機会を提供していきます。

・楽器体験

『し・ま・の・室内楽』学校公演では、即興打楽器アンサンブルなど、体験プログラムも行っています。実際に参加してみることで、音楽を、難しいルールの必要ない、思ったままに自分を表現できる手段として身近に捉えてもらうきっかけとなることを願っています。

★学ぶ機会をつくる

・『し・ま・の・オーケストラ』

2日間の濃密なりハーサルのなかで、普段の演奏において見落とされがちなことをふんだんに織り交ぜ、全国から集まった音楽愛好家たち個人の音楽生活の、ひいてはそれぞれの所属楽団での活動がより豊かなものとなるよう指導が行われます。本番と同じホールで全ての練習を行い、オーディションで選ばれたソリストとともに、ホールの残響への対応などたくさんのことを学びながら一丸となって演奏会をつくり上げていきます。

・『し・ま・の・オーケストラ』公開リハーサル

部活動の指導をされている方や楽団の指揮者など音楽の指導に携わる人の中には、練習の組み立て方や指導の進め方など様々な疑問を抱える人が少なくないにもかかわらず、その疑問を解消する機会はほとんどありません。公開リハーサルでは、初対面のメンバーが集まってから翌日に本番を迎えるまでのすべての練習の様子を公開することで、それらの疑問についてのヒントを見つけていただければと願っています。また、希望があれば練習後の食事会にも参加し、練習時の発言や組み立ての意図などを指揮者や講師に直接質問することが出来ます。

★つながる機会をつくる

・『し・ま・の・オーケストラ』

この企画は、全国各地から集まった音楽愛好家たちがしまで行う3日間の合宿を通して親睦を深め、ひとつになって演奏会を作り上げるものです。参加メンバーの輪は瀬戸内を中心に、北は仙台・南は沖縄まで広がっています。また、あの鯛めしをもう一度食べたい！とあって連続参加を決めたメンバーもいるなど、しまの魅力の発信の場としても機能しています。

・しまとしま

県をこえて瀬戸内の島々で同時に演奏会を行うことで、ネットワークを広げていきます。それぞれの島でご協力頂いた方々の輪がつながり、音楽に限らず文化全般における今後のさらなる展望が開けることを願ってこの活動を続けていきます。演奏会づくりに興味のある方や音楽が好きな方に限らず少しでも興味をお持ちの方はぜひご協力ください。一緒にしまを盛り上げていきましょう。

～ご挨拶～

本日は瀬戸内『し・ま・の・音楽祭』2018 へのご参加・ご来場誠にありがとうございます。はじめに西日本豪雨で被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、災害対応に追われるなかご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。当初は中止も検討しておりましたが、存続を望む声とともに多くの方のご助力をいただき、ここに無事開催する運びとなりました。

4回目となる今年の音楽祭は、愛媛・広島両県にまたがって9日間にわたり7つの島で演奏会を行う、規模の大きいものとなりました。『し・ま・の・室内楽』では、本音楽祭のために『し・ま・の・フェスティバルカルテット』を結成し、生口島・大崎下島における本公演だけでなく多数の学校特別公演も行います。また、『し・ま・の・オーケストラ』演奏会には、今年度より始まったソリストオーディションの最優秀賞受賞者の佐藤菜々海さんが登場し、全国から集結した今年のオーケストラメンバーとともに協奏曲を演奏します。それぞれの熱気あふれる生の演奏を、どうぞお楽しみください。

瀬戸内『し・ま・の・音楽祭』実行委員長 豊嶋 博満

瀬戸内『し・ま・の・音楽祭』2018 ご参加・ご来場いただき、誠にありがとうございます。関係者のみなさまにご支援、ご協力を賜り、ここに瀬戸内『し・ま・の・室内楽』演奏会、瀬戸内『し・ま・の・オーケストラ』第4回演奏会を盛大に開催する運びとなりましたことを、心より感謝申し上げます。

この音楽祭は、しまなみ地域でも生の音楽に触れる機会を届けることを目指し始まったものですが、回を重ねるごとに演奏の会場を増やし、全国各地から集まった音楽愛好家たちとしまなみ地域をつなぐ架け橋となっています。

演奏家にとって成長の機会となることはもちろんのこと、地域にとっても文化の種となり、地域の文化振興に寄与するものとなっていくことを期待し、微力ながらお力添えして参りました。

この音楽祭の開催につきまして、ご多忙の中、島まで足をお運びいただき、このような場を設けてくださった演奏家のみなさま、また、ご尽力を賜りました地域の皆様に深く御礼申し上げます。

しまなみ地域活性化推進協議会連合体 会長 矢野 都林

瀬戸内『し・ま・の・音楽祭』2018 が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。瀬戸内『し・ま・の・音楽祭』実行委員会におかれましては、音楽活動による島しょ部の活力創出に多大な御尽力を賜っており、その熱意と御努力に、深く敬意を表します。

今年の音楽祭は、愛媛・広島両県にまたがる7つの島において、10の室内楽と1つのオーケストラの公演が行われるとうかがっており、「聴く・奏でる・つながる・学ぶ機会を創る音楽祭」として、演奏会にとどまらず、リハーサルの公開や楽器の体験プログラムも実施されるなど、音楽文化の進展、地域の活性化に大きく寄与する大変有意義なものと思存します。

どうか御出演の皆様におかれましては、息の合った演奏で聴衆の皆さんを大いに魅了されますとともに、今後とも、音楽を通じた地域文化の振興にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本音楽祭の御成功と、皆様方のますますの御健勝、御活躍を祈念申し上げます。

愛媛県知事 中村 時広

瀬戸内『し・ま・の・音楽祭』2018 の開催にあたりまして、お祝いの言葉を申し上げます。

瀬戸内『し・ま・の・音楽祭』は、日本でも有数の風光明媚な景観を誇りますこの「芸予諸島」を舞台として、それぞれの島に生の演奏による音楽を届けたいという思いから始まりました。今年は、今治市・尾道市・呉市の7つの島で9日間にわたる公演で、各島にお住いの方々に、素晴らしい音楽を楽しんでいただける機会をご提供くださいますこと心よりお礼申し上げます。

さらに、ホールでのオーケストラ公演・室内楽公演と合わせまして、公開リハーサルや、学校公演による体験プログラムなど、子どもたちに本物の音楽を身近に感じてもらえる取り組みを行っていただけることは、子どもたちにとって大変貴重な体験となり、将来音楽家を目指す方が一人でも多くなることを大いに期待しています。

また音楽は、私たちが生まれた時から、すぐ傍にある文化芸術であり、普段の生活からは切り離せない存在になっていると言っても過言ではありません。音楽を聴くだけで、時には楽しかったこと、また時には苦しかったことを思い出したりします。

今回の『し・ま・の・音楽祭』で聴いた音楽が、子どもたちが成長していく中で、楽しかった思い出を呼び起こしてくれるものになりますことを切に願っています。

最後に、今回の瀬戸内『し・ま・の・音楽祭』2018 の開催にあたり、ご尽力いただきました実行委員会のご関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、今後益々のご活躍を祈念いたしまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

今治市長 菅 良二

～瀬戸内『し・ま・の・音楽祭』2018 公演一覧～

◆印 本公演

☆印 公開リハーサル 入場無料(出入自由：室内楽・オーケストラともに演奏に支障のない範囲で舞台上でもご覧いただけます。)

無印 特別公演 学校公演：全て一般入場可(入場無料)
児童館での演奏会：一般入場可(要無料整理券 ㊟伯方児童館 0897-72-3055)

※未就学児は9月8日(土)伯方島公演 A のみご入場いただけます。

9月8日(土) 伯方島 『し・ま・の・室内楽』伯方島公演 A～児童館で音と人がつながる演奏会～
子どものための演奏会
10:00～10:40
伯方児童館

『し・ま・の・室内楽』伯方島公演 B～児童館で音と人がつながる演奏会～
マタニティーコンサート
14:00～15:00
伯方児童館

9月9日(日) 生口島 ☆『し・ま・の・室内楽』公開リハーサル①
10:30～12:30
ベル・カントホール

◆『し・ま・の・室内楽』生口島公演

開演 14:00 開場 13:30

ベル・カントホール

ハイドン／ピアノ三重奏曲 ハ長調 Hob.XV:21

ベートーヴェン／弦楽四重奏曲第4番 ハ短調 Op.18,No.4

イザイ／無伴奏ヴァイオリンソナタ第2番 イ短調 Op.27,No.2

シューマン／ピアノ五重奏曲 変ホ長調 Op.44

出演：『し・ま・の・フェスティバルカルテット』、ピアノ北村真実

9月10日(月) 因島 『し・ま・の・室内楽』因島公演 A
10:30～11:20
因島南小学校体育館

9月10日(月) 因島 『し・ま・の・室内楽』因島公演B
13:35~15:00
因島高校体育館

9月11日(火) 関前諸島 ☆『し・ま・の・室内楽』公開リハーサル②
10:30~12:30
関前開発総合センター

『し・ま・の・室内楽』関前諸島公演
岡村小学校・関前中学校のための演奏会
13:30~15:20
関前開発総合センター

9月12日(水) 大崎下島 ☆『し・ま・の・室内楽』公開リハーサル③
10:30~12:30
安芸灘交流館堀ばたホール

◆『し・ま・の・室内楽』大崎下島公演
安芸灘交流館堀ばたホール
開演 14:00 開場 13:30

ハイドン／ピアノ三重奏曲 ハ長調 Hob.XV:21

ハイドン／弦楽四重奏曲 No.19 ト長調 Op.54-1

イザイ／無伴奏ヴァイオリンソナタ第2番 イ短調 Op.27, No.2

モーツァルト／ピアノ四重奏曲第1番 ト短調 K.478

出演：『し・ま・の・フェスティバルカルテット』、ピアノ北村真実

9月13日(木) 大三島 『し・ま・の・室内楽』大三島公演A
10:00~11:30
今治北高校大三島分校体育館

『し・ま・の・室内楽』大三島公演B
13:20~14:20
大三島小学校体育館

9月14日(金) 大島 『し・ま・の・室内楽』大島公演
吉海小学校のための演奏会
13:15~14:15
吉海学習交流館大ホール

9月15日(土) 大島 ☆『し・ま・の・オーケストラ』公開リハーサル①
13:00~20:30
吉海学習交流館大ホール

9月16日(日) 大島 ☆『し・ま・の・オーケストラ』公開リハーサル②
09:30~18:00
吉海学習交流館大ホール

◆『し・ま・の・オーケストラ』第4回演奏会

開演 19:00 開場 18:30

吉海学習交流館大ホール

ベートーヴェン／序曲「コリオラン」 Op.62

ピアノ協奏曲第3番 ハ短調 Op.37

交響曲第4番 変ロ長調 Op.60

指揮 豊嶋和史

ピアノ独奏 佐藤菜々海(ソリストオーディション2018最優秀賞)

※『し・ま・の・室内楽』特別公演のプログラムは、本公演の一部に演奏体験等を織り交ぜたものとなっております。内容は各演奏会の時間にあわせて異なります。

～本公演入場券～

『し・ま・の・室内楽』(全席自由) 前売：一般 2000円 学生 1000円

当日：一般 2500円 学生 1500円

『し・ま・の・オーケストラ』(全席自由) 前売：一般 1000円 学生 500円

当日：一般 1500円 学生 700円

通しチケット(全公演) 一般 3000円 学生 1500円

チケット取り扱い HP(<https://setouchi-festival.wixsite.com/setouchi-festival>)または下記店舗にて

- ◆松山 (株)河合楽器製作所 愛媛店
- ◆尾道 (株)マスハラ楽器 0848-23-7100
- ◆大崎下島 潮待ち館(水木定休) 0823-66-3533
- ◆因島 坂井文具店(日曜定休) 0845-22-0570
- ◆生口島 Café Terrasse(木曜定休) 0845-25-6862
- ◆生口島 汐待亭(月曜定休) 0845-25-6572
- ◆大三島 よし川 0897-82-0392

※島内でのチケット販売にご協力いただける方はぜひお申し出ください。

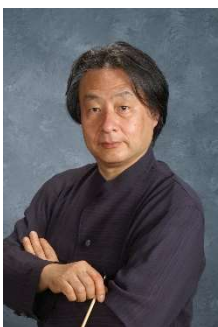
～出演～

『し・ま・の・フェスティバルカルテット』、ピアノ北村真実

(野々村嘉伶・川村陽華・豊嶋博満・豊嶋和史)

『し・ま・の・オーケストラ』2018

(指揮 豊嶋和史 ピアノ独奏 佐藤菜々海)



音楽監督 豊嶋和史

愛媛県西条市生まれ。大阪府立北野高校を経て立命館大学文学部哲学科卒業。在学中より指揮活動を開始し、各地のオーケストラを指揮する。バロックから現代に至る幅広いレパートリーを持ち、特にブルックナーにおける確かな造形と自然な演奏形式には定評がある。室内楽の分野でも自らフルート奏者、チェロ奏者、司会者として各地でバロックコンサートなどに出演し、好評を博す。また、指揮、ピアニスト、管弦楽器奏者を指導するほか、成人の弦楽器入門者へのシステムティックな指導にも力を注いでいる。作曲を故・猪本隆氏に師事、フルートをマルセル・モイーズの、指揮及び音楽総論をセルジウ・チェリビダッケのゼミナールに学ぶ。アンサンブル・ソノリテ主宰。箕面ヴィヴァルディ合奏団、バッハ・バルトーク合奏団指揮者。大阪、福井、名古屋、高知にレッスルーム開設。



『し・ま・の・オーケストラ』ピアノ独奏 佐藤菜々海

(ソリストオーディション2018 最優秀賞)

横浜市出身。4歳よりピアノを始める。県立神奈川総合高校卒業後、その年に渡独。同年ドイツ国立リュベック音楽大学へ入学し、Bachelor of music(学士)課程を修了。同国立カールスルーエ音楽大学にて Master of music(修士)課程を最高点の成績で修了。2014年、第14回ユリウス・ザレンプスキー国際音楽コンクール(ポーランド)にて第1位を獲得。ワルシャワ王宮他で行われた受賞者コンサートに出演。2016年より音楽団体ICPA(International Certificate Piano Artists)のメンバーとして、ブリュッセル近郊を中心にバリ他、欧州各地でコンサートに出演。2017年には、アメリカ・フロリダ州、ウェストパームビーチで開催された音楽祭に招待アーティストとして参加。多数の欧州各地マスタークラスにて、ミシェル・ペロフ、マティアス・キルシュネライト、ゲラルド・ファウス、ジョージ・ケルンらのレッスンを受講。また、フセイン・セルメット、上田晴子、ヨゼフ・アントン・シェラーらの特別レッスンを受講。在学中よりソロ及び室内楽にて数多くの演奏会に出演。横浜・東京にて3度のリサイタルを開催。10月よりミュンスター音楽大学 Zertifikatstudienjahr 課程に在籍予定。これまでに、中島恭子、山内三代子、バーバラ・マルティーニ、コンスタンツェ・アイックホルスト、ゾントラウト・シュパイデル、ネルソン・デル＝ヴィーニュ、ペーター・フォン・ヴィーンハルトの各氏に師事。



ヴァイオリン 野々村嘉怜

2歳よりヴァイオリンを始め、6歳で香川ジュニア・フィルハーモニックオーケストラのオーディションに合格。オーケストラやアンサンブルにも積極的に取り組む。ハーイック・カザジャン氏に才能と音楽性を認められ、12歳でチャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院にてエドゥアルド・グラッチ氏、セルゲイ・クラフチェンコ氏らのマスタークラスを受講。2009年全四国毎日音楽コンクール本選第3位。2014年、コンコルソ・ムジカアルテにてグランプレミオを受賞。受賞記念として世界遺産テアトロオリンピコやヴィチェンツァ国立音楽院、ヴェネチア国立音楽院にて演奏を行ったほか、東京のイタリア大使館にて受賞者によるニューイヤーコンサートに出演。2016年、第10回横浜国際音楽コンクール第3位。2017年、第22回KOBE国際音楽コンクール中高生部門優秀賞受賞。これまでにソロリサイタルを2回開催。ヴァイオリンを川村陽華、ハーイック・カザジャン各氏に師事。ピアノを小佐井淑子氏、室内楽を豊嶋和史氏に師事。この秋からフランス留学予定。



ヴァイオリン・ヴィオラ 川村陽華

高松短期大学器楽コース卒業。同専攻科・同研究科修了。卒業後は四国を中心にソロ・室内楽・オーケストラ等の演奏活動を行うと共に、後進の育成に積極的に取り組む。ヴァイオリンを宮内康恵、福崎至佐子、イエーラ・シュピトコーヴァ、ハーイック・カザジャン各氏に師事。室内楽を林俊昭、アルバート・ロト、豊嶋和史各氏に師事。セルゲイ・クラフチェンコ、エドゥアルド・グラッチのマスタークラス受講。全四国毎日音楽コンクール最優秀賞受賞。高知出身の次世代若手演奏会を育成支援する、学生の為のリサイタルシリーズ Artiste de soleil「アーティスト・ドゥ・ソレイユ」主催。清和女子中・高等学校、楽器堂オーパスミュージックスクール、かがわ・ニューフィルハーモニックオーケストラ、高知ジュニアオーケストラ各講師を務める。ヴァイオリンとヴィオラの音楽教室「Leçon de H」ルソン・ドゥ・アッシュ主催。KFC かがわチェンバーオーケストラ団員。



ヴァイオリン・ヴィオラ 豊嶋博満

上智大学卒業。2歳よりヴァイオリン、9歳よりヴィオラをはじめ、中学高校時代には吹奏楽で管打楽器にも親しむ。大学在学中には管弦楽編曲・弦楽器の指導などの依頼も多く、上智大学100周年記念音楽祭における同校校歌を含む編曲・指揮も手がけた。現在は室内楽奏者・指揮者・編曲家として活動。ハイリゲンベルク夏期国際音楽アカデミーにおいてミヒャエル・ハウバー氏の室内楽クラスを受講。同修了演奏会出演。プラハ室内楽マスターコースにてカレル・シュペリナ氏のクラスを受講。2011年東京音楽大学交流学生。第18回大阪国際音楽コンクール Age-G 入選。ヴィオラをライナー・モーク、升谷直嗣、川崎和憲の各氏に、指揮を野口芳久氏に師事。当音楽祭主宰。彩のオーケストラ指揮者。



ピアノ 北村真実

高知大学教育学部を経て、鳴門教育大学大学院芸術系コース修了。ピアノを住友弘一、村澤由利子、瀬戸口重利、豊嶋和史の各氏に、音楽理論を利根常昭氏に、室内楽を豊嶋和史氏に師事。1990年四国サロンコンサート協会、2001年研鑽の場やサロンコンサートの場として音の広場「カプリース」、2009年地元の演奏者の応援のためにNPO法人こうち音の文化振興会を立ち上げる。現在は高知福祉専門学校・芸術学園幼稚園・やえもん幼稚園・のいち幼稚園・こうち赤い鳥の会童謡教室などの音楽講師を務めながら、様々なユニットで演奏を行っている。2016年、高知県文化環境功労者表彰受賞。

『し・ま・の・オーケストラ』2018

Concert Master

豊嶋 博満*

1stViolin

野々村 嘉伶*
青木 優果
井上 明香里
萱野 由梨
島田 明音
高橋 滉
高橋 里鶴
田中 志歩

2ndViolin

川村 陽華*
木村 大志
小池 秋水
清水 美朗
中須賀 智彰
西川 蒼一郎
宮内 尚人

Viola

上条 真理*
薄井 里奈
甲斐 幸子
三浦 太市
森 悠貴
山下 紗生

Violoncello

石川 泰羽*
上野 陽菜子
鶴之澤 航平
桑原 圭佑
佐久間 惟代

Contrabass

今川 大樹
島内 保奈美
西川 哲史

Flute

金平 紗也加
宮川 裕仁

Oboe

金 相弼
白尾 謙一郎
村上 宏一

Clarinet

青山 雄一郎
岡田 卓人
日山 須美子

Fagott

石原 沙津季
小口 晴佳
黒田 鼓

Horn

小川 里菜
西岡 渚
水上 慶人

Trumpet

上田 智也
坂本 亮
若宮 功

Timpani

平賀 諒
渡辺 詩織

Staff

北村 真実*
石塚 拓
伊藤 大地
久保 愛海
星野 恭宏
村田 将平

*印：講師

※『し・ま・の・オーケストラ』は、この演奏会のために全国から集まった奏者たちが、しまで2泊3日の合宿を行って作り上げる1夜限りのオーケストラです。

～『し・ま・の・室内楽』プログラムノート～

フランツ・ヨーゼフ・ハイドン(オーストリア) 1732-1809	(杉田玄白 1733-1817)
ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(ドイツ) 1770-1827	(ナポレオン 1769-1821)
ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(オーストリア) 1756-1791	(松平定信 1759-1829)
ウジェーヌ=オーギュスト・イザイ(ベルギー) 1858-1931	(尾崎行雄 1858-1954)
ロベルト・アレクサンダー・シューマン(ドイツ) 1810-1856	(リンカーン 1809-1865)

◇ハイドン／ピアノ三重奏曲 ハ長調 Hob. X V:21 (生口島公演・大崎下島公演)

ハイドンが宮廷音楽家だったころ、招かれた客をもてなすために書かれたものです。気品があり、優雅な時間が流れます。

第1楽章 Adagio pastorale, Vivace assai

穏やかな序奏に始まり、喜びに満ちた旋律が軽やかに奏でられます。

第2楽章 Molto Andante

語りかけるようなピアノの音色にいざなわれ、優しく、暖かな空気が広がります。

第3楽章 Finale, Presto

生き生きとした音楽のなかに、ハイドンらしいかわいい仕掛けがあちこちに現れます。

◇イザイ／無伴奏ヴァイオリンソナタ第2番 イ短調 Op.27, No.2 (生口島公演・大崎下島公演)

作曲家であり偉大なヴァイオリニストでもあるウジェーヌ=オーギュスト・イザイによって1924年に作曲されました。全6曲からなるこのソナタは、それぞれ親交のあった6人のヴァイオリニストに献呈されており、第2番はフランスのヴァイオリニストのジャック・ティボーにささげられた曲です。

第1楽章 妄執(Obsession)

バッハの無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第3番が引用されています。光がさすようなこのパッセージと、地獄を思わせる厳しい表情とが、絶妙なコントラストとして描かれています。

第2楽章 憂鬱(Malinconia)

付点のリズムが特徴的なシチリア風で書かれており、揺らめくような独特な静けさが感じられます。終結部では瞑想的なドローン風の低音の上で、「怒りの日」のメロディーが自由に奏でられます。

第3楽章 影たちの踊り(Dance des ombres)

静かでどこか物悲しい雰囲気の中、いたるところに「怒りの日」の主題がちりばめられ、最後はその力強いメロディーによって締めくくられます。

第4楽章 復讐の女神たち(Les Furies)

重音を多用することで、複雑な感情を、色彩豊かで重厚に表現できるように作曲されています。

◇ベートーヴェン／弦楽四重奏曲第4番 ハ短調 op.18, No.4 (生口島公演)

この曲は、1800年頃に出版された6曲からなる弦楽四重奏曲の1つとして書かれました。その中でただひとつの短調で、しかもベートーヴェンにとって特別な調性であるハ短調で作曲されています。ベートーヴェンのハ短調の曲というと、のちに書かれる交響曲第5番「運命」や、ピアノソナタ「悲愴」などが思い浮かべられます。この曲は彼がこの調性に求めていたものを形にしたはじめての作品といえるのではないのでしょうか。

第1楽章 Allegro ma non tanto

悲劇的な美しさをはなっており、晩年のベートーヴェンを予見させるような内容を持っています。

第2楽章 Andante scherzoso quasi allegretto

冒頭をハ長調で始めることで、第1楽章との性格の違いを明確に出しています。また、強弱のレンジを広く用いて、ユーモアを持たせています。

第3楽章 Menuetto, Allegro

決然とした強い意志を感じさせます。

第4楽章 Allegretto

ハ短調で始まりハ長調で終わる、「苦悩から勝利へ」という全体像で作曲されています。ベートーヴェンならではの熱狂的な盛り上がりと興奮を感じることができます。

◇シューマン／ピアノ五重奏曲 変ホ長調 op.44 (生口島公演)

この曲はロベルト・シューマンの代表的な室内楽作品です。ピアノ五重奏というジャンルの草分け的作品であるとともに、最高傑作と言われます。クララと結婚して2年目の32歳の秋にわずか1か月強で一氣に書かれました。1843年にライプツィヒのゲヴァントハウスにて、妻クララのピアノで初演された時、ドイツ・ロマン派の音楽に批判的態度を示していたベルリオーズが会場にいましたが、この曲には非常に感激したと伝えられています。

第1楽章 Allegro brillante

美しいソナタ形式で書かれており、ドラマティックな旋律が輝かしく演奏されます。

第2楽章 In modo d'una Marcia

ハ短調の葬送行進曲。曲の中に、とてもシューマンらしいロマン的な救いのある楽想や、力強く激しい楽想が挟み込まれています。

第3楽章 Scherzo, Molto vivace

スケルツォとは、軽やかでユーモアのある、テンポの速い器楽曲のことです。音階が上下するテーマが印象に残ります。

第4楽章 Allegro ma non troppo

強く訴えかけるような旋律、自問自答するような旋律などを自在に用い、感情の動きがいきいきと表現されています。最後にはこの楽章の主題が第1楽章の主題と組み合わせられて二重フガートになり、堂々と全曲を結びます。

◇ハイドン／弦楽四重奏曲 No.19 ト長調 Op.54-1 (大崎下島公演)

交響曲の父「パパ・ハイドン」と呼ばれるハイドンですが、実は弦楽四重奏の生みの親でもあり、83曲も書いています。

第1楽章 Allegro con brio

華やかな旋律のなかにも、随所にハイドンの遊び心が感じられます。

第2楽章 Allegretto

とても幸福感に満ち、安らぎを感じられる楽章です。

第3楽章 Menuetto Allegretto

躍動感のある力強い3拍子の舞曲。中間部では、チェロの大ソロが親しみをもって奏でられます。

第4楽章 Finale Presto

「おもてなし」の雰囲気満ちており、ちりばめられた数々のユーモアから、ハイドンの素敵な人柄を感じることができます。

◇モーツァルト／ピアノ四重奏曲 ト短調 K.478 (大崎下島公演)

この作品は1785年10月16日にウィーンでオペラ「フィガロの結婚」の創作の合間をぬって作曲されました。モーツァルトは、ハイドンが完成したピアノ三重奏(ヴァイオリン・チェロ・ピアノの組み合わせ)を越えるために、ヴィオラを入れて、四重奏ならではの音の厚みを生み出そうと工夫しました。

第1楽章 Allegro

厳格な構造のなかに、ヴィオラが入ることによって出来るようになったことをあれこれと試すモーツァルトの姿がうかがえます。

第2楽章 Andante

可能性の広がった弦楽器のハーモニーを存分に生かした、温かく厚みのある楽章です。

第3楽章 Rondo

推進力のある喜びに満ちた楽章です。ハイドンとは異なる世界を模索したモーツァルトの努力が見事に実を結んでいます。

～『し・ま・の・オーケストラ』プログラムノート～

『し・ま・の・オーケストラ』は毎年公募のオーケストラで、『し・ま・の・音楽祭』実行委員会のサポートのもとその年の参加者によって自主運営されます。『し・ま・の・オーケストラ』第4回演奏会においては、今年のオーケストラメンバーの制作したプログラムも配布されます。その中にプログラムノートがございますので、ぜひそちらをご覧ください。

～公開リハーサル～

瀬戸内『し・ま・の・音楽祭』では、公開リハーサルを実施し、音楽を『創る』様子を見る・学ぶ機会を提供しています。

『し・ま・の・オーケストラ』公開リハーサル

『し・ま・の・オーケストラ』では、全国各地から応募したメンバーが2日間という短い期間でオーケストラを創り上げるため、公開リハーサル見学では、楽員の初顔合わせから本番を迎えるまでの過程をご覧ください。公開リハーサルは多くのプロオーケストラも実施していますが、通常はより多くの時間行われるリハーサルの一部であり、当音楽祭のように1から10まで見られる、という機会は滅多にありません。全て見られることによって、曲の細部の表現や修正についてだけでなく、本番までの練習をどう組み立てるか、限られた時間の中で今あるオーケストラに対し何から優先して整理すべきか等、練習全体の計画や指導の方法までご覧になることができます。

また、その場で初めて集まったアマチュアオーケストラ（弦楽器の首席奏者のみ講師が務めます）なので、プロオーケストラのある程度慣れて完成された状態で行うリハーサルとは異なり、様々なバックグラウンドや考え方を持った集団がどうやって一つにまとまりながら成長していくかという部分もご覧いただけます。

さらに、(公開リハーサル中は練習に支障のない範囲で)客席だけでなく舞台上も移動しながらお聴きいただけます。普段の練習を教室や練習室で行う楽団員あるいはその指揮・指導者にとって、耳元の音が客席でどう聞こえているのかという相関関係について考えたり試したりする機会にはなかなか恵まれません。このリハーサル見学は舞台と客席を行ったり来たりしながら、実際にどういう音がどう聞こえるのか、どういう表現がどういう風に伝わっているのかについて考えを深める貴重なチャンスになると考えております。

見学にいらしていただいた方は練習を見るだけでなく、その後の食事会に参加して指揮者や講師、参加者に質問することもできます(食費実費、人数に制限があります)。ご希望の場合はお近くのスタッフにお申し出ください。

『し・ま・の・室内楽』公開リハーサル

『し・ま・の・室内楽』公開リハーサルでは、異なる楽器の音の混ぜ方、細かい音色の選び方や音量のバランスの修正など、より深いプロフェッショナルな内容とともに、わずかな配置の違いや椅子選びでいかに客席での聞こえ方が変わってしまうかというような実験もご覧いただくことができます。こちらでも(練習に支障のない範囲で)客席だけでなく舞台上も移動しながらお聴きいただけます。舞台上のこういった表現が客席でどう聞こえるのかなど、残響や音量についてだけでなく、細かなニュアンスの伝わり方の差異も是非観察してみてください。もちろん、専門知識の有無にかかわらず、興味のある方ならどなたでも歓迎いたしますので、それぞれの楽しみ方を見つけていただければと思います。

逸品館は、瀬戸内『し・ま・の・音楽祭』2018を応援しています。



みなさま、こんにちは。「逸品館」は、約30年前に大阪の日本橋で起業した、高級オーディオやホームシアターを取り扱うお店です。

豊嶋先生とはコンサートを録音・録画する業務用の装置や、録音された名演奏をより良い音で鑑賞する為のオーディオ機器を求めに来られたのがきっかけで出会いました。出会ってすぐに「豊嶋メソッド」にどっぷりハマってしまった私は、コンサートの録音を手伝ったり、お弟子さんの練習におつきあいしている間に、自然と「音楽の本当の力」を知るようになりました。

音楽はその豊かな感情を伝え、分かち合うことで人間の感情を豊かにし、心を癒してくれる大切な存在です。音楽はイメージを伝える為に作曲され、その思いを演奏によって再現し、聴き手へ感動を伝えます。

逸品館が扱っているオーディオは、その感動を余すことなく、そして可能な限りありのままに伝えるものでなくてはなりません。そういう思いから、逸品館は、瀬戸内『し・ま・の・音楽祭』2018を全力で応援します。

生き生きと再現された音楽により、私達の生活はストレスから解放され、世界は意味豊かなものになります。あなたがそのような世界で生きる手助けをできたらと、逸品館は思っています。

S席の“興奮や感動”をあなたに

「本物の音」で音楽とふれ合って欲しい。

けれど、高級オーディオでは、価格は高すぎる。

音楽の専門家から見て納得できる音質を手が届く価格で実現するため、

Fun Sounds の製品は量産される低価格製品から

優れたモデルを選び、さらに「改良」を加えています。

音楽への強いリスペクトから生まれた、Fun Sounds の製品は「S席」で聴く、

ライブコンサートの興奮や感動をきっとあなたに伝えてくれるでしょう。



国内基準の品質だから、安心の保証と充実のアフターサービス

Bluetooth4.1と
有線AUX接続に対応



防水機能
IPX5相当



30日間
返品保証

1年間
交換保証

ワンタッチ
ハンズフリー通話



最大5時間
連続再生



体が動く
パワフルなサウンド

Red Sun

■希望小売価格(税別)

4,800円



心が震える
ドラマティックなサウンド

Blue Moon

■希望小売価格(税別)

5,300円



音楽の生き生きとしたリズムは、「低音」があればこそ。メロディーを弾ませるベース。パンチの効いたドラム。こんなに小さいのにしっかりした低音が出る「Red Sun」は、ボーカルを力強く歌わせ、お気に入りの演奏を体が動くような躍動的なサウンドで鳴らします。

語りかけるボーカルに込められた想い。悲しげな楽器の音色。美しいハーモニー。こんな価格なのに「Blue Moon」からは、泣ける音が出ます。今までなんとなく聞いてきた演奏を聞き直したくなる。聞き逃していた演奏の良さに気付ける。「Blue Moon」は、一人の夜にそんな「彩り」を奏でます。

■主な仕様 防水規格/ IPX5相当 Bluetooth規格/ 4.1+EDR Bluetooth通信距離/ 最大約10m ドライバユニット/ 4Ω5W バッテリー/ 800mAh
連続再生時間/ 最大5時間(音量70%) ※環境、使用状況により異なる 充電時間/ 約3時間 オーディオ入力/ Bluetooth、3.5mm AUX IN ハンズフリー通話/ 対応(内蔵マイク)

逸品館の通販サイト 現金特価・ローン対応「オーディオ逸品館.JP」、クレジットカード対応「e.オーディオ逸品館」、楽天・Amazon・Yahoo!ショッピング・ヤフオク!でも出店中

お問い合わせ



株式会社 逸品館

〒556-0004
大阪市浪速区日本橋西1-7-28 常盤ビル101号

TEL 06-6644-9101

URL <http://www.ippinkan.co.jp/>

FAX:06-6644-6990 E-MAIL:info@ippinkan.co.jp

営業時間 10:00 ~ 19:00 定休日 なし(年末年始及びお盆、臨時休業を除く)

逸品館

検索



WELLFLOAT® ウェルフロート

今回の演奏会でご使用頂いております
(ピアノ、チェロ、コントラバス、ティンパニーに使用)

G CLEF ACOUSTIC LTD.

ジークレフ音響株式会社

〒563-0023 大阪府池田市井口堂1-10-19

Tel. 072-762-8730 Fax . 072-762-8731

http://www.wellfloat.com E-mail: info@wellfloat.com

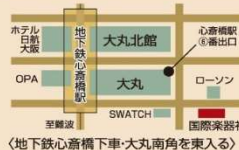


登泉堂
T Ō S E N D Ō



“関西で楽器をお探しの方、お越しく下さい”

オールドヴァイオリンは著名オークション会社や
大手収集家よりコンディションの良い楽器を厳選・収蔵。
はじめての楽器をお探しの方には
ヨーロッパより独自ルートで個性あるブランドを多数用意。
世界市場と同程度の価格設定です。
400本の楽器・弓コレクションから、
あらゆるリクエストに対応いたします。



大阪(株)国際楽器社

〒542-0085 大阪市中央区心斎橋筋1丁目5番28号(水曜定休)

TEL 06-6252-0222

URL www.kokusaigakusha.com

最新の情報はHPでチェックしてください



はかた
伯方塩業株式会社

Music Space 'Caprice'

音の広場「カプリース」

小さな空間でほっとなアコースティックライブ

高知県内の演奏家を中心にジャンルをこえてご紹介

管弦打楽器のレッスンや音楽総論・指揮法などのセミナーも行っています

高知市比島町 4-7-32(高知駅より徒歩 10分)

お気軽にお問い合わせください。TEL. 090-6883-7538



瀬戸内『し・ま・の・音楽祭』2018

主催：瀬戸内『し・ま・の・音楽祭』実行委員会

共催：しまなみ地域活性化推進協議会連合体

後援：愛媛県 広島県 今治市 呉市 尾道市 愛媛県教育委員会 広島県教育委員会

今治市教育委員会 呉市教育委員会 尾道市教育委員会 愛媛県文化協会

今治市文化協会 尾道市文化協会 公益財団法人 愛媛県文化振興財団

公益財団法人 ひろしま文化振興財団 愛媛新聞社 中国新聞備後本社

協力：伯方児童館 今治市地域おこし協力隊 サウンドトレジャー・イノウエ

協賛：株式会社逸品館 ジークレフ音響株式会社 登泉堂 伯方塩業株式会社

株式会社国際楽器社 音の広場「カプリース」 本州四国連絡高速道路株式会社